

2021年11月19日
三井住友トラスト不動産投資顧問株式会社
代表取締役社長 名取 秀彦

2021年GRESBリアルエステイト評価取得に関するお知らせ

三井住友トラスト不動産投資顧問株式会社（以下「当社」といいます。）がアセットマネジメント業務を受託しております「芝ウインドアベニュー合同会社（投資物件：日本電気本社ビル）」は、このたびGRESBリアルエステイト評価に初めて参加し、総合スコアのグローバル順位により5段階で格付されるGRESBレーティングで「3スター」評価を取得致しましたのでお知らせいたします。



GRESBリアルエステイト評価について

GRESBは、不動産会社・ファンドの環境・社会・ガバナンス（ESG）配慮を測る年次のベンチマーク評価及びそれを運営する組織の名称であり、責任投資原則（PRI）を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に2009年に創設されました。投資先の選定や投資先との対話にGRESBデータを活用する投資家メンバーは、現在140機関（運用資産額（AUM）は47兆米ドル超（1米ドル110円換算で、5,170兆円））に上り、日本でも、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）をはじめ、複数の機関がGRESB評価結果を利用しています。2021年に実施されたGRESBリアルエステイト評価には、世界で1,520の上場・非上場の不動産会社・ファンドが参加しました。

当社のESGへの取組について

当社グループ会社である三井住友信託銀行株式会社は、2006年5月のPRI（責任投資原則）制定時に署名を行い、PRIの六つの原則に則った方針を策定して、最新の動向を踏まえ

た取り組みを行っております。当社においても三井住友トラスト・グループの「共通価値の創造」の理念を共有し、その「社会的責任に関する基本方針（サステナビリティ方針）」のもと、自らの不動産投資運用業務においても、ESG に配慮した責任ある投資運用戦略を策定・推進し、運用不動産の継続的な環境負荷低減を図ることが、不動産価値の維持・向上、ひいては投資家利益の最大化に資するとの考えから独自の ESG 不動産投資運用方針を定め、日々の業務において実践しております。

弊社の ESG 不動産投資運用方針について

<https://www.smtreim.jp/policy/ESG.pdf>

※本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。